



平成 29 年度 リスタート

生活創造空間にし 館長 松本 孝治

「老人六歌仙」 仙厓

皺（しわ）がよる 黒子（ほくろ）ができる

腰まがる 頭はげる ひげ白くなる

手は震う 足はよろつく

歯は抜ける 耳はきこえず

目は疎（うと）くなる

身に装は 頭巾 襟巻

杖 眼鏡 たんぼ

温石（おんじゅく） 尿瓶（しゅびん） 孫の手

聞きたがる 死とむながる

淋しがる 心は曲がる 欲深うなる

くどくなる 気短くなる 愚痴になる

出しゃばりたがる 世話やきたがる

又しても 同じ咄に 子を誉る

達者自慢 人は嫌がる

く老醜などとは言わせない。楽しく、元気に介護の世界を生き抜いて素敵に齢を重ねたいと思うこの頃です。私事でした。（若者にお願い、この韻でラップにしてもらえないか）＞

みんなの「声」を聴くために… 生活創造空間にし 副館長 阿部 浩之

生活創造空間にし副館長、ガッツ・ビーと西所長の阿部です。この4月で2年目となりました。生活創造空間にしは開所して6月で9年目に突入します。「西区地域自立支援協議会」は、生活創造空間にしが開所して1か月後の7月から始まっています。改めて、「西区地域自立支援協議会」とは…。『横浜市西区は、一番人口も少なく、面積も小さな区です。障がい支援する施設も他区に比べると決して多いとは言えません。しかし、そんな西区だからこそできることがあります。それは「小回りのきいた、手の行き届いたあたたかい支援」です。

「働きたい」「やりがいや責任を持ちたい」「この地域で暮らし続けたい」「仲間がほしい」「楽しみたい」「自立したい」など、当事者の思いは様々です。また、当事者だけでなく、支援者も同様に、嬉しかったこと、悩みごと、困りごとなど思いは様々です。一人、もしくは一事業所ではできないことも、共有・共感し、皆で知恵を出し合い、協力し合うことで、目の前の悩んでいる「ひとり」のために、みんなで悩みひとつひとつを丁寧に解決していく。その解決のプロセスから地域課題克服の鍵を導き出していきます。ひとりだけで悩まない。障がい当事者や支援者、地域住民みんなが“顔の見える関係を作る場”それが横浜市西区地域自立支援協議会です。』

「西区地域自立支援協議会」では2017年度、障がい当事者の方々の声を聞くための取り組み、「西（セイ）PEC（ペック）」を開催します。大きな声では言えませんが、今まではどちらかというと支援者同士の横のつながり、顔の見える関係づくりがメインでした。当事者抜きでいくら協議しても本当の課題抽出・解決にはなりません。そんな協議会にメスを入れるべく、今年度まずは声を聴くところからスタートします。もちろん生活創造空間にしでもこの取り組みに協力していきます。まずは生活創造空間にしをご利用されている方々の「声」に耳を傾けていきます。日頃感じていること、何でもOKです。皆さんの「声」聴かせてください！日頃から皆さんの声、声に出せない声なき声まで拾い上げられる、そんな地域の拠点となるべく、突き進んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

～地域で育ちあう、暮らしあう、生きあう～

平成 28 年度の生活創造空間にし研修では、地域の方々が考える「地域での暮らし」と障がい当事者・福祉施設職員が考える「地域での暮らし」について、お互いが歩み寄ってお互いを知りあえるような研修会を企画してきました。

第 5 回は、地域の方々も含めてのシンポジウムを検討していましたが、7 月 26 日に起こった津久井やまゆり園で起きた事件について、みんなが今感じていること、思っていること、取り組んでいることを「ことば」にする機会とさせていただきました。10 月 31 日にも同様の研修を行い、なかなか地域の方々が参加するには重いテーマであるため、当事者・支援者の方々の参加がほとんどでした。今回も参加者層は同様であったため、今年度のテーマである地域の方々と障がい当事者・福祉施設職員がお互い歩み寄って、お互いを知りあうという機会にはなり得ませんでした。障がい当事者・福祉施設職員の参加者自身がそれぞれ自分の言葉で今回の事件のことについて話すことにより、この事件と向きあう時間をつくることにしました。

参加された 38 名が、それぞれの「ことば」で語ってくださいました。『自分には、障がいのある方と関わる仕事を数十年間続けていること、そしてなぜ続けているのかということ和社会の中で、多くの人に伝える役目がある。そのことにより、「障がい者はいない」ということに対して、「そんなことはない!」と断言したい。』最近、感じていることです。自分が学校を卒業して一番最初に就職したのが、重度障がいのある方が通所されていた事業所。言葉での意思疎通が困難な方々との 4 年間で今の自分の根底にあります。「誰にでも意思はあり、それをどう汲み取るかは自分次第なんだ」ということを障がい当事者の方々から学んだ 4 年間でした。その自分の試行錯誤を職員・地域の方々に伝えることが、目の前にいる障がい当事者の方とどう向き合っていくかのヒントになるのではないかなあと…。

こういったそれぞれが持っている「ことば」を地域の方々含めて一緒に話し合える、そんな場を今回は 5 回の研修で設定しようと企画してきました。まだまだ地域の方の参加も多くない生活創造空間にし研修でありますし、何より今回のテーマはなかなか 5 回の企画で成しうるようなテーマではありません。今回のテーマ「地域で育ちあう、暮らしあう、生きあう」は、今後の生活創造空間にし研修でも継続して考えていきます。今後も参加する人が、それぞれの「ことば」で発信できる場、生活創造空間にし研修はそんな場でありたい。

（予告!）

平成 29 年度は、「西区に合ったつながりを創っていくために」をテーマに、西区での様々な分野（子ども、高齢、障がい）のそれぞれの現状と課題を共有した上で、「我が事・丸ごと」地域共生社会が、西区ではどのような形で実現できるのかを皆さんと一緒に考えていきます。

研修担当：阿部

も も じ ょ う し せ っ く ほ う こ く
桃(上巳)の節供 報告

平成 29 年 3 月 3 日(金)、生活創造空間にしまして第 4 回目の「みんなの節供」が行われました。

今回は‘ひなまつり’。だれもが小さい頃から慣れ親しんできた行事ですが、七段飾りのお人形の役割をご存知でしたか？前回は七草の効能をお話して頂きましたが、今回もおもちゃのはこの中島さんにおひなさまのお話をして頂きました。そしてもちろん！おもちゃのはこさんには素敵な音楽を披露して頂き、コンサートの最後には「世界がひとつになるまで」に参加されたみなさんと合唱♪

2 部は食堂でのバイキング。総勢 134 名の方が参加され、中には 90 代のおばあちゃまも参加して下さっていました。小さな子供たちがワイワイキャーキャー走り、その姿を「賑やかでいい」と優しく見守って下さるご高齢の方々。障がいのある方も笑顔で食事をされ、多世代が交流する場になりつつあることがとても嬉しいと感じる節供の一日でした。

今回、「無事力エル隊」が初出動しました！今後も夜道が不安な方はぜひ、無事力エル隊にお声がけ下さい。

みなさんも合
唱で参加♪

中島さんの語り
口調はいつも素敵

にしの美人？！
三人官女

現代の五人囃子は男
女混合

おすまし
おひなさま♥

右大臣・左大臣は今でい
うボディガード！

次回は 5 月 12 日(金) 端午の節供です！

一週遅れの「子どもの日」です。お間違えのないよういらして下さい。まだまだ課題もありますが、わいわいがやがや大勢で音楽やお食事を楽しみましょう。遊びに来て下さい！

生活創造空間にし イベント告知

みんなの節供&食堂

こどもの日 端午の節供

5月12日(金)16:30~19:00

16:30~おもちゃのはこコンサート

17:30~5階食堂 お食事バイキング

ステーション邂逅 Vol.20

橙(だいたい) LIVE

5月19日(金)18:00~20:00

場所:生活創造空間にし1階

チケット:500円

第5回ふれあい春まつり に出店

5月21日(日)11:00~14:00

開催場所:稲荷台小学校グランド・体育館

主催:ふれあい春まつり実行委員会

協力:西区第3地区支援チーム

奮って

ご参加ください

男 もや田のもやもや日記

春といえば、別れと出会いがあり、一段落したらゴールデンウィークが見えてきた今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

学生のころは、連休になると、青春18きっぷで横浜から北海道や九州まで、目的もなくただただ旅をしていました。鈍行列車で移動を続けるので、昼間は移動、目的地に着くのは夜中でした。観光なんか殆どできず…。でも、豊橋の小料理屋で出会った常連客のおじさん方にご馳走していただいたり、広島では、電車の中で話かけてくれたご老人から、60年くらい使い続けているという愛用のヘアブラシを譲り受けたり、朝早く駅に向かっていて鳥取では、ラジオの出演を依頼されたり、福島では談合事件の取材で集まった記者に、関係者と勘違いされ写真を沢山取られたりと、普段ではなかなか経験できない出来事を楽しむことができました。

今はあの頃と比べて、時間を有効に使おう！と考えるようになっていますが、意味もなく時間を使うことでしか味わえない経験も貴重で楽しかったなとしみじみ感じてしまう連休前でした。(男 もや田)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市内西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)